

平成20年度採用分日本学術振興会特別研究員申請者に関する評価書 (RPD)

・本書式を <http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html> → 「申請手続き」 → 「募集要項(RPD)」 → 「申請書等様式」 からダウンロードし、次頁に記載した特別研究員-RPD の概要並びに評価書作成上の注意点をよく読んで記入してください。

・外国人の研究者により、英語で記述する場合は、本会所定の書式(英語版)を使用してください。

① 評価者の所属機関： _____ 大 学 _____ 学部・研究科・研究所 _____ 研究所

職： _____ 氏名： _____ (印)

②申請者 氏 名 湯川秀樹	③申請者との関係
④研究課題 (申請書の「研究課題」を記入) 象の卵	
⑤申請者の研究姿勢・忍耐力、研究の進捗状況、専門的知識・技量、着想力・創造力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、将来性などについて記入してください。また、研究の独創性又は特色も明記してください (その研究が共同研究である場合は、特に申請者の当該共同研究において果たした役割及びその寄与の程度が分かるように記入してください)。 湯川秀樹君は、秀才タイプの青年で勉強もよくでき、非常にまじめである。何事についてもまじめで、最近は大学内の対抗野球試合に向けて、毎日ひたすら野球の練習に打ち込んでいる。 ただ、そうしたこともあって、能力は高いのかもしれないが、さっぱり論文を書かない。私が湯川君を採用したのは、ある人から強い推薦があったためだが、本当のことを言うと、私としては朝永君を採用したかった。 まあ、少しは能力に見合った成果を出すよう、ハッパをかけようと思う。	

(評価書作成上の注意点)

- *本評価書作成の際は、日本語で記入してください（英語で記入する場合は英語の書式を使用してください）。なお、手書きする場合は、黒インク又は黒ボールペンで丁寧に記入してください。
- *評価書2通の作成者は、申請者の研究を良く理解している研究者とし、うち1通については、研究中断前の受入研究者、現在の受入研究者又は採用後の受入研究者とします。「申請者との関係」欄に、申請者との関係を具体的かつ詳細に記入してください。
- *本評価書は、審査の重要な資料となるので、当該申請者についてできるだけ具体的かつ明確に記入してください。
- *本評価書は両面印刷としてください。本書以外に新たに用紙を加えることはできません。
- *写しは6部（A4版、両面コピー）とり、本書及び写しを併せて封筒（角2）に入れ厳封の上、申請者が作成する申請書に添付してください（封筒の表に申請者名と評価者名を記載してください）。

特別研究員・RPDについて

独立行政法人日本学術振興会は、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資するため特別研究員制度を実施しています。

この特別研究員制度の一環として、学術研究分野における男女共同参画を推進する観点も踏まえ、優れた若手研究者が出産・育児による研究中断後に円滑に研究現場に復帰する環境を整備するため、研究奨励金を一定期間支給し、研究活動再開を支援する**特別研究員・RPD**を平成18年度に創設しました。

参考：過去の特別研究員－RPD採用状況（平成18年度）

年度	R P D		
	申請数	採用数	採用率
18	140	32	22.9%

※詳細は本会ホームページをご覧ください。

本会「特別研究員」ホームページ（<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>）

→「審査」→「採用状況」